

夏の境町アートプロジェクト

伊野和宏(画家・境町文化芸術アドバイザー)

画家・内海聖史さんと地域おこし協力隊員アートディレクター・藤原敏雄さんとの協働「境町アートプロジェクト」で、境町のアート事業を展開しています。

この夏、境町アートプロジェクトはS・GALLERY 肅榮美術館にて山口俊郎さんの個展を企画いたしました。

山口俊郎個展

「Any Day Now」

「対象をキャンバスに写して描く『具象画』を主な表現方法として選んだ山口俊郎(1977年生)は、2014年にダウン症という染色体異常による発達障害を持つて生まれた長男・蒼汰郎の誕生を切っ掛けに、彼



山口俊郎「緋-sleeping prinsess-」

の肖像画を描き始める。

山口は父として家族を慈しむ優しい眼差しと、画家として対象を写し取る冷静な眼差しとで、蒼汰郎をはじめ、家族の肖像や身の回りの物を描きだす。

昨今、性的マイノリティ(LGBTQ)の問題や、性別・国籍・人種など様々な差別が話題に上がる。同じように、障害を持つ方々への差別意識も、社会の課題として突きつけられている。

私たちはいつも誰かを恐れている。友人を恐れ、同僚を恐れ、すれ違う誰かを恐れ、隣国を恐れ、力ある者を恐れる。恐れは、対象に対する無知から来ている。人類の発展は、その恐れ克服の歴史でもある。

私たちも、家族のことのようにこれらの問題を愛を持って理解し合えたら…。山口が蒼汰郎へ向ける温かい眼差しは、あらゆる問題を乗り越えるヒントを提示してくれている。」(境町アートプロジェクト)

アートは感情・思い・知性などの「人間らしさ」を留め、伝え、感動や気づきを与えてくれる活動です。あなたは何かを感じるでしょうか。明確な「正解」の感じ方はありません。お互いの感じ方を話し合い、それらを共有するのにもアートの面白みの一つです。お誘い合わせの上、ぜひご来場ください。

「さかいまち国際児童画展」「芋づる画廊」の企画も進行中です。

さかいまち国際児童画展は来年の第1回展開催へ向けて8月31日まで作品を募集しています。海外のお友達と絵を通して交流してみましよう。



さかいまち国際児童画展の詳細はこちら▶



芋づる画廊は限研吾建築であるHOSHIMONOLIO Café(境町1459・1)2階にて内海聖史と伊野和宏の絵画を毎月交互に展示替えしています。境町民は10%OFFで作品を購入できます。美味しい干し芋やコーヒールと一緒にぜひご覧ください。

「芋づる画廊」ウェブサイト▶



上野の東京都美術館では約20年ぶりの大規模なマティス展が8月20日まで開催されています。この展示もオススメです。今年の夏も暑いですね。熱中症に気をつけながら、たくさんアートを楽しんでみてください。

俳句

令和五年六月 境町文化協会俳句部

兼題 「父の日・目高」 他当季雑詠

父の日に感謝の気持ち肩を揉む 春世

※母の日に、カーネーションや何かしらの品物を贈って感謝を伝える慣習は、今なお母と子の強い絆の象徴ともなっている。一方、父の日は・・・といえば、相変わらず話題も低調だ。だからこそ、永年の恩愛に対する感謝を込めて、この日恒例の肩叩きに精を出すのである。平凡ながら「親孝行」の原点が此処にある。

父の日やLINEで届く感謝状 喜一

※今や、日常の通信手段は、印刷物から音声、音声からメールへと急速なスピード化を遂げた。味わい深かった年賀状なども減少の一途を辿っている。そうした時代の変遷のなか、父の日に届いた一通のメール。それは、いつも変わらぬ子から父への深い感謝の「声なき声」だった。当世ならではの一句である。

父の日やカラオケ楽し爺と孫
父の日や写真見るたび刻忘れ
父の日や幼きころのかたぐるま
ふと淋し目高を知らぬゲームの子
父の日や灘の生一本手みやげに
父の日の父は気丈にまだ達者
父の日や目尻も下がる贈り物
水槽の目高は田ん圃恋しがり
緑映え朝方の雨父の日よ
目高捕りした友達よ今も友
小川から消えし目高の面影を追う
さも台詞父の日吾子の義理ことば
父の日や手作りケーキでサプライズ
水槽の目高のんびり藻草食む
父の日や暦に赤丸つける父
孫来たる父の日の夫恵比寿顔
父の日や逢いたい時は夢で会ひ

すみ子 香こ 芙蓉子 慶子 きみ代 久子 信子 譲一 幸子 正子 仁子 妙子 雄節 ひろこ きよ乃 光夫

短歌

境短歌会 山鳩

紫陽花が梅雨の晴れ間に元氣よく空に向かい青く輝く 川上京子

高き扉乗り越えて咲く紫陽花をかかとをあげてそっと触れ 川村米子

姉となる孫預かりて三か月父母の迎えに帰らぬと泣く 古谷野信子

庭先にしっかり芽吹く鬼灯をお盆の前に手入れいそむ 斉藤敬子

水無月の窓打つ雨に目が覚めて老いの一日何を楽しむ 桜井レイ

青青と裏の草木が生い茂り葉音鳴らして涼しさ運ぶ 五月女三枝子

吾子等来て植えし紫陽花とりどりの色鮮やかに狭庭華やぐ 鈴木喜與子

空高く白雲引きて夏となり梅雨の合間に草引く私 松岡美智子

堀沿いにつばなの白き穂風に揺れ初夏を彩る散歩道かな 本島イト子

今年も早いもので半分が過ぎ、暑い夏を迎えました。コロナもまた少しづつ増えていると聞きました。行楽地も人手が多く海外等へ出かける人もたくさんいるそうです。何となく解放された気分です。暑さの中、体調に留意して過ごしていきたいと思ひます。



「広報さかい」「広報さかいお知らせ版」へ有料広告を掲載しませんか?

広告募集中

広告掲載料

◎ 1段全枠 (44mm×175mm) 15,000円

◎ 1段半枠 (44mm×85mm) 8,000円

※詳しくは下記まで問合せください。

問合せ先 秘書広聴課 電話 81-1329 E-mail kouhou@town.ibaraki-sakai.lg.jp



主催 境町役場

S-Gallery 肅榮美術館 information

茨城県猿島郡境町 1455-1 TEL:0280-23-4148

山口俊郎個展「Any Day Now」

8月10日(木)～9月18日(祝) 10:00～12:00 ※入館最終時間 11:30
13:15～17:00 ※入館最終時間 16:30
休館日:月・火曜日、8月11日(祝)は開館 ※12:00～13:15 昼休業のため閉館

入館料: 330円

18歳未満、65歳以上は無料(年齢が確認できるものを提示) 各種障がい者手帳をお持ちの方と付き添い1名無料

